

【補助事業概要の広報資料】

整理番号 26-63
補助事業名 平成26年度 中国地域の技術・産業振興支援 補助事業
補助事業者名 (公財) ちゅうごく産業創造センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

・技術事業化交流会：研究者と企業とのネットワークの形成・強化。 ・中小企業の技術力強化のための支援事業：国の助成金研究開発委託事業への提案力の強化。 ・質感色感研究会：風合いに富んで質感や色感で一味違う「ものづくり風土」の定着を図り、中国地域の技術・産業支援に寄与する。

(2) 実施内容

① 技術事業化交流会 (<http://ciicz.jp/kenkyu/nen/h26.html>)

電子デバイス事業化フォーラム(4回)、医療福祉機器技術事業化交流会(4回)、植物工場技術事業化交流会(3回)、環境・エネルギー技術事業化交流会(3回)の計14回技術事業化交流会を実施し、専門家による情報提供、大学の研究シーズと中国地域の企業とのマッチングを図った。



② 中国地域における中小企業の技術力強化のための支援事業

提案書作成に関わる講習会を開催し、国の研究開発委託(支援)事業への申請支援を行った。 (<http://ciicz.jp/jutaku/index.html>)



③ 中国地域 質感色感研究会 (<http://cii cz.jp/kenkyu/bunya/kansei.html>)

中国地域の企業と研究者・専門家が一緒になって、感性評価を活かした魅力ある製品づくりや、サービスの向上、及び若手研究者の育成等を目的に研究活動を行い、十分な成果を上げている。基本的には研究を活かした試作品の作成を目途としていたが、メンバーの中には製品化にまで至る成果も見られた。また、広く当研究会の活動を紹介する目的においては、講演会に86名、活動の総括となる成果発表会には124名の参加が中国地域内外からあり、こちらも満足できる結果となった。



2 予想される事業実施効果

① 技術事業化交流会

参加者は延べ1000名の実績となり、大学シーズと企業ニーズの出会いの場、専門家による最新情報の提供、知識の共有の場として貴重な機会を提供できた。また、産学官ネットワークの強化に繋がるとともに、マッチングの図れた案件については新規事業化に向け更なる発展が期待できる。

② 中国地域における中小企業の技術力強化のための支援事業

提案書作成に関わる講習会は参加者37名を集め、国の研究開発委託（支援）事業への提案申請を促すとともに提案書作成ノウハウなど貴重な関連情報を提供することができる。

③ 中国地域 質感色感研究会

今年度までに、企業：22社、研究者：21名、産業支援機関：21、研究機関：20の参加により、産学官連携体制が構築され、その結果感性研究を活用した自社ブランド品の拡大や感性研究スタッフの増員等、持続的な成果を生み出している。また、現在中国地域では文部科学省、中国経済産業局、広島県、産業技術総合研究所等が類似の研究会等を立ち上げ、「感性研究」が活発になっている。当センターはこの活動の中核を担い、更なる発展に繋げていく。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

なし

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益財団法人 ちゅうごく産業創造センター
(チュウゴクサンギョウソウゾウセンター)

住所： 〒730-0041
広島県広島市中区小町4番33号 中電ビル2号館

代表者： 会長 岩崎 恭久 (イワサキ ヤスヒサ)

担当部署： 産業部 (サンギョウブ)

担当者名： 産業部部長 吉井 誠一 (ヨシイ セイイチ)

電話番号： 082-241-9948

F A X : 082-240-2189

E-mail : zdyoshi i@pnet. gr. energia. co. jp